

ペンネーム	益城のおとうさん
-------	----------

【エピソードのタイトル】

自信を与えてくれるマラソン大会です。

【エピソードの内容】

“記録より、記憶に残る、海響のドラマ”の言葉につらさを感じて躊躇していた「下関海響マラソン」に昨年初めて挑戦しました。

後半歩いてでもいいから完走したいとの思いでスタートしたのですが、結果としては自分でもびっくりする位のタイムで完走でき、思わず涙がでてしまうほどでした。

恐れていた後半のアップダウンだったのですが、スタッフ・ボランティアの方々が用意してくださった体を冷やすための数々のペールの水、冷たいおしぼり等、他では経験した事の無いおもてなしに感動し、そして沿道での多くの方々の声援を受け歩く事なく走り抜ける事が出来たのです。感動の連続でした。

そして思ったのです。

「下関海響マラソン」を走り抜ける事が出来たら残りのシーズン中の大会は十分に楽しめると！

一昨年迄は恐れていた「下関海響マラソン」ですが、今は挑戦したい・楽しみな、「下関海響マラソン」に変わりました。

思い通りに完走できたら残りのシーズンが楽しめるし、失敗したら残りのシーズンに向けての練習に繋がるし、「下関海響マラソン」は、走る事で得られる事が多い大会と思います。

今年ももちろんエントリーさせて頂きました。

まずは一歩一歩からを念頭に挑戦させて頂きたいと思います。

楽しみにしています。